

原発がこわい女たちの会

http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

《 2013年09月 | トップ | 2013年11月 》

検索

2013年10月24日(木)

検索

再稼働と汚染水問題の勉強会をしました

アーカイブ

大気中への再度の放射能大量放出を防ぐため
 メルトダウンした燃料をこれから何年も冷却し続ける必要があります。
 そのために溶融炉心への注水を続けなければなりません。
 これが汚染水の根本原因です。
 膨大な汚染水が行き場の無い状態で増え続け、
 すでに大規模な漏出がおこっています。
 そして、安倍首相の「ブロックされている発言」はウソだとみんな思っています。



10月19日、原発がこわい女たちの会では、小山英之さんを講師に公開勉強会を行った。
 小山さんは、「美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会」略して「美浜の会」代表を長くつとめられている。女たちの会へは、2004年9月以来、作業員5名の死者を出した美浜原発3号機事故の直後であった。
 なお2011年5月には田辺市で、脱原発わかやま主催「福島第一原発事故—脱原発へ」の講演をされている。

当日の参加者30名、熱心に聞き入り質問し議論した。マスコミ報道などでなんとなく分かった気になっていても事の細かいことまで理解できていない。そんな個々の疑問の数々を講演のなかでその都度ぶつけて質疑応答を取り入れていくやり方で進められた。このストップモーション方式は、私たち聴き手からすると確かめながらじっくり理解を重ねていくことが出来たが、講師の方はたいへんだったのではないかと思う。でも小山さんはさすが。多岐にわたる質問にも丁寧に応答していただいた。

たとえば汚染水タンク。1基あたりの容量1000トン、これが2日半で満杯になるほどのペースで汚染水が排出(ということは、1日で学校の教室2つ分…筆者注)。ハイペースの一因となっている地下水の流入を抑制するために凍土壁で建屋を囲む方式が決まったが、これまた矛盾だらけ。実現性も疑わしいが、完成したとしてもその効果や維持管理に疑問が付きまとう。いっぽうで、にわか仕立ての汚染水タンクは、耐久性なく部材継ぎ目からの漏洩だの、傾斜で溢れただの、ホースの接続ミスだの、雨水で堰から溢れただの、信じがたい汚染水事故がモグラたたき状態(振り回される現場は本当に大変だろう)。しかもこちらの汚染水は凍土壁とは関係なく地中へ排水溝へ、つまりは海へ流入する。
 「いったい何のために凍土壁を作るんですか? !何百億の税金かけて」という質問には、「私(小山)には分かりません。」——たぶん金かける価値を分かっているのは原子カムラの人だけ。経産省は密室で決めるな!ということである。

現在12基の原発再稼働が申請され、規制委員会では審査を始めている。新基準で求められる「海洋への放射性物質の拡散を抑制する手順等」に対して、

- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(2)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

電力会社の再稼働申請書では、シルトフェンスを張る、土嚢を置く、など役に立たないものばかり。さらに炉心溶融が発生したときはメルトダウンするにまかせて格納容器の冷却に切り替えるという、従来とは全く異なる方針を打ち出した申請書もある。メルトダウンした燃料が落ち込むと下部コンクリートが侵食され汚染水が通り抜けると予想されるのだが。
 といった最新情報も説明されたが、「福島原発ではメルトダウンした格納容器の底がどうなっているのか未だ見ることさえできないのにな?!」再稼働審査なんてできるのかな?というのが正直なところ。規制委員会・規制庁は、審査に傾注する膨大な人と時間を汚染水対策の方にまわすべきだろう。

汚染水は漁業者の死活問題。それが最も顕になってしまったのが福島～東日本太平洋岸だ。放射能による海洋汚染の危険はどこにもある。長崎県漁連では全国にさががけ、原発再稼働反対へ向けた対策本部を設置し、「漁業は海を守る責務がある」と隣県の玄海原発再稼働に反対運動を始めた。小山さんは理論と実践の支援者のひとりだ。
 原発に抗う漁師さんたちは和歌山にも、上関祝島にもいる。全国あちこちにいる。
 福島の教訓を踏まえて、これ以上の汚染から海を守り豊かな食べ物を守りたいのは、私たち消費者、市民もおなじこと。
汚染水のなくすし的な海洋放流は許せない。原発再稼働なんてもつてのほか。
 そんな思いを皆で共有していきたい。

(sora)

※ 美浜の会ホームページ<http://www.jca.apc.org/mihama/>
 「福島第一原発汚染水漏洩・流出事故についての緊急国際署名」の呼びかけと署名フォームがあります。
 また、当日配付された汚染水問題リーフレットは、同サイトからダウンロードできます。

2013-10-24 | 記事へ | コメント(0)

2013年10月13日(日)

(再掲)再稼働と汚染水についての勉強会をします

原発がこわい女たちの会では、小山英之さん(美浜の会・代表)をむかえて公開勉強会をおこないます。その19日が近づいてきましたので、再度、お知らせをさせていただきます。

2011年3月11日の福島原発事故から2年半が過ぎました。現在、日本で稼働している原発はゼロです。

「福島第一原発」は壊滅的な危険を孕んだまま、汚染水問題が大きく報道されています。8月8日に汚染水流出政府試算を一日300トンとしたマスコミ報道がありました。東電と政府は汚染水の処理の手立てがなく、海に放出せざるを得ないことは前からわかっていたはず。オリンピックのプレゼンで安部総理は「汚染水による影響は、福島第一原発の構内の0.3平方キロメートルの範囲内で完全にブロックされています」「状況はコントロールされている」と世界に向けて真っ赤なウソを宣言しました。

私たちは本当の事を知ることが大切です。国や関電に対する裁判や政府交渉等を精力的にされている小山英之氏に来て頂いて話をお聞きます。どなたでも参加いただけます。ぜひお集まり下さい。

再稼働と汚染水問題

講師 小山英之 氏(美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会 代表)
 日時 10月19日(土) 13:30～
 会場 和歌山市あいあいセンター5階 研修室
 (和歌山市小人町29番地 電話073-432-4704)
 主催 原発がこわい女たちの会
 参加費 200円
 連絡先⇒ 松浦(073-451-5960)

■講師 プロフィール



1967年大阪大学大学院理学研究科博士課程(素粒子論専攻)終了。大阪府立大学工学部数理工学で脳神経システムの数理科学的研究などを行い、講師として定年退職。スリーマイル島原発事故を契機に、原発新規立地に反対する

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民守 正義(08/21)
 そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
 コメントありがとう by sora(12/05)
 突然すみません。東京 by 里美(11/22)
 10/26と11/29のチケッ by 角谷(10/23)
 starさんコメントあり by sora(09/14)
 このブログを読むまで by star(09/13)
 こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
 現在稼働している大飯 by star(04/09)
 廃炉産業を起こしてほ by kaziharayosiyuki(03/14)

カレンダー

<		2013年10月							>	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
		1	2	3	4	5				
6	7	8	9	10	11	12				
13	14	15	16	17	18	19				
20	21	22	23	24	25	26				
27	28	29	30	31						

最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に! 11・13琵琶湖集会(11/15)
 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
 原発がこわい女たちの会
 ニュース99号発行(10/12)
 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
 老朽原発・美浜3号機は廃炉に! パブコメを出そう(08/28)
 ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
 原発のない社会を投票で示そう!(07/05)



運動に参加。91年の美浜2号機事故を契機に「美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会」を結成。同年、高浜2号機の蒸気発生器問題で大阪地裁に提訴。99年、MOXデータ不正事件で大阪地裁に提訴。全国のプルサーマル問題や六ヶ所再処理問題に関与。2000年12月福島第一原発3号機用MOX燃料の使用差止め仮処分申請(福島地裁)で証人として法廷に立つ。

原発がこわい女たちの会
ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ
RSS

ID:

PASS:

サイト管理者

ログイン

SSLモードでログイン

2013-10-13 | 記事へ | コメント(0)

2013年10月02日(水)

原発がこわい女たちの会ニュース86号発行

9月29日、「原発がこわい女たちの会ニュース」86号を発行しました。内容は以下の通りです。この中からブログ初出のものを主にご紹介します。

【 CONTENTS 】

公開勉強会 再稼働と汚染水問題
 福島第一原発は 壊滅的な危険を孕んだまま
 福島からのたより:
 風化の中で思う・・・橋柳子
 南相馬市小高より・・・根本幸子
 鈴木静枝さんからのたより
 映画「ひろしま」を観ておもったこと
 お知らせ:
 福島原発事故の責任を問う告訴
 汚染水漏洩・流出事故についての署名
 『原発を拒み続けた和歌山の記録』地方出版文化・奨励賞
 後記

■ 再稼働と汚染水問題

公開勉強会
 ○講師 小山英之氏(美浜の会代表)
 ○10月19日(土)13:30~
 ○和歌山市あいあいセンター5階(センターみらい研修室)
 (和歌山市小人町29番地 ☎073-432-4704)
 ○誰でも参加できます。参加費200円

9/27日国会で、汚染水の問題は東電社長も安部首相の「状況はコントロールされている」を追認した。汚染水漏洩放出ルートは2つ。一つは地下水からの漏洩、2つはタンクからの漏洩。
 地下水は、原子炉建屋地下に山側から海に毎日約800~1000トンの流量が有るとされている。海に排出する確実な迂回路が確保されないかぎり、放射性物質と接触し放射能汚染水となって海に排出される事態は、事故直後から明らかであった。毎日400トン程度の放射能汚染水が海洋放出されている。高濃度の放射能は湾の中にあり、海洋には少しずつ移動させているのをコントロールされていると云うのか。

■ 福島第一原発は 壊滅的な危険を孕んだまま

小出裕章氏のインタビュー記事「世界/2013年10月号」(福島第一原発はどうなっているのか)を参考に汚染水の基本的な部分のみ。事故が矮小化されつつある中で、ごまかされないように復習です。

原子炉はウランを核分裂させ、その際に発生する熱を利用して発電しています。

ウランを核分裂させてしまうと核分裂生成物という放射性物質が出来てきます。その放射能の強さは、もともとのウランが持っていた放射能の強さに比べると一億倍にも達します。「放射能」とは放射線を出す能力のことを指します。放射線とは物理的に言えばエネルギーの固まりです。それが一億倍にも増えるということですから、核分裂生成物がだす発熱量も非常に多くなります。

BLOGariは2017年1月末
サービス終了します

福島第一原発はウランの核分裂反応そのものは制御棒をいれて停止することが出来たと言われています。しかし原子炉の炉心には核分裂生成物がすでに大量に蓄積していますので、それが発熱を続け、その熱を冷却することが出来なければ、炉心は自らの熱で溶けはじめます。その過程で水素が発生して爆発し、原子炉建屋を吹き飛ばしました。それ以上炉心が溶けないように、放射性物質が周囲に飛び出してくるのを防ぐために冷却を続けなければいけないのです。

しかし、冷却のために水を入れれば、核燃料に接触した水自身が汚染してしまうことは避けられません。圧力容器も底に穴があいて核燃料は落ちてしまっていますし、放射能を閉じ込めるための最後の防壁として設置されていた原子炉格納容器も、おそらくいくつもの穴が開いてしまっている。水をいくら入れても格納容器から漏れ出てしまい、原子炉建屋やタービン建屋の地下に、あるいはトレンチやピット、立坑といった地下のトンネルのようなところにあふれ出てしまっているのです。原子炉建屋などはコンクリートの構造物ですから、もともと水を漏らさないということはできません。事故直後から汚染水はどんどん環境中に漏れていたはずで

一方で、周辺の方からは地下水がどんどん入り込んでいきます。その地下水が汚染水と渾然一体となって福島第一原発の敷地内に溢れているのです。

原発の中の核分裂生成物は約200種類ぐらいありますがすでに事故から2年半経過していますので現時点で非常に重視すべき放射性物質はセシウム137、ストロンチウム90、トリチウムの3つで、これが現在の汚染水に含まれている主なものだと思います。セシウム137は揮発性が高いため、事故直後から大量に大気中に放出され、東北地方から関東地方にかけて土地を猛烈に汚染しました。ストロンチウム90という放射性物質はセシウム137とほぼ同量炉心の中にあっただけですが、セシウム137ほど揮発性が高くなく大気中に出てきた量はセシウム137の1000分の1ほどだった。炉心にそのまま残存していたのですが、水溶性であるため今汚染水となって流出しているのです。トリチウムは別名三重水素というように水素です。環境中にある時は水素ガスという状態ではほとんど存在せず、水の形で存在しています。炉心にあったトリチウムは、水そのものの形で汚染水に含まれています。ゼオライトという粘土鉱物などを用いて、とにかく汚染水の中からセシウム137を除去することです。しかし、ストロンチウム90はゼオライトではほとんど除去出来ません。これまでの方法では除去出来ずに汚染水の中に残っています。そしてトリチウムは水そのものですから、何をやっても除去できません。

汚染水はまだこれから継続して海へ拡散することは避けられません。世界で初めての事が起こっているのです。再稼働を進めている人は福島原発事故をどのように理解しているのでしょうか。



300トンの漏洩 排水溝⇒ = 福島第一原発 (美浜の会リーフレットより)

■ 福島からのたより:

南相馬市小高より 根本幸子

長かった梅雨がやっと明け(8月に入って～)猛暑の連日30度を越す暑さに体が付いていきません。首からタオルをかけた毎日です。事故から2年半、落ちついたかと思っておりましたら又々汚染水の問題。東電では事故前にもその程度は排出していたのだとぬげぬげと発表しているのです。私たちはただ々あせんとしました。東電の方々とは物差しが違うようです。南相馬の元住民は農業をする事も出来ず工場誘致をしたくても原発の廃炉が決まらなくては、又いつ爆発するか解らない所には来ません。結局、若い人の職場が無くては小高には帰って来ま

せん。「見捨てられた民」です。
でも政府以外の多くの方に支援を戴き一步でも前に出なければと、心に言い聞かせております。春に植えた稲はすこぶる元気で、主人は大満足しております。野菜も良く東京のオルガン堂(オルガン堂は福島応援県産品販売所)から注文が多く、検査を受けて送っております。でも手数は掛かります。出来た野菜(胡瓜・南京・じゃが芋・玉葱等々、)全てそのつど検査を受けます。安心と安全はイコールになりませんが…。
我が家で栽培したお米が食べられるのはいつの事か先が見えません。残念です。
又こちらにお出掛けの節は、きつとお塗り下さい。又お会い出来る事を願っております。

.....

根本さんは南相馬市小高区のお百姓さんで、双葉郡浪江町の隣村になります。緊急時避難準備区域で、今も昼間だけ入村を許可され、許可を取って今年はお米を育てられています。夜は相馬市の借り家に帰られます。毎日1時間ばかりかけて通っておられます。
今年の4月に福島県の本宮市の仮設住宅にお住まいの橘さんを訪ねた時、根本さん御夫妻に浪江町や港を案内して頂いた有田川町の古田伊公子さん宛の江本さんからの手紙の一部です。本人の許可を頂いて載せさせていただきます。

■ 映画「ひろしま」を観ておもったこと 一戦後68年—

今年の8月6日に和歌山市のカトリック教会で映画「ひろしま」(DVD観賞会)を観ました。
私の忘れ行く記憶の中で、小学校低学年の時、講堂(旧木造の講堂)の前列に座り込んで観た原爆の映画がありました。その映像で2~3日、夜、うなされて眠れなかった事だけは覚えています。私の家が小学校の近くだったので、一人で行ったのか、誰かと一緒だったかは覚えていませんが、今回の「ひろしま」を観て9歳の私がうなされたのはこの映画ではなかったような気がしました。

原作は「原爆の子 広島少年少女の訴え」(長田新さん編・1951年岩波書店刊)です。
同じ原作で1年はやく1952年5月、新藤兼人監督による映画「原爆の子」が上映されています。私が観たのはこの映画だったかもしれません。
今回観た1953年作の関川秀雄監督(1908~1977)の映画「ひろしま」は製作費は、全国の日本教職員組合の先生たち他50万人が一人50円ずつ出資して2500万円を元に、製作され、広島市民約9万人がエキストラで出演。1953年5月20日~7月末まで、広島市内にロケ班が入り撮影された映画だそうです。広島市の人々のこの映画にかかるエネルギーが映画を観ていると伝わってきます。勿論白黒です。岡田英次さん、月丘夢路さん、山田五十鈴さん、加藤嘉さん、子役に松山英太郎さん、河原崎健三さんなど。(若い人は知ってるかな)
この映画は1955年ベルリン国際長編映画賞を受賞されていますが全国で広く上映されることなく「幻の映画」と言われ、長い間眠っていたそうです。私も知りませんでした。
映画を観ると「幻の映画」になぜなったのかわかるような気がします。

1945年広島・長崎へ原爆投下され、日本は(ポツダム宣言を受諾)敗戦。
1950年朝鮮戦争勃発・警察予備隊設立。1951年にサンフランシスコ講和条約を結んで日本は独立国になるわけですが、1952年日米行政協定、日米安保発効により、対米従属的な国家体制の枠の中へ。
映画「ひろしま」は被爆による白血病死、朝鮮戦争などの主張がアメリカにとって都合な真実だったのでは、と思います。私が興味があったのは、映画「ひろしま」の上映と同年に1953年8月米アイゼンハワー大統領、国連で「平和のための原子力」演説をしています。
その翌年・1954年3月1日アメリカ、ビキニ環礁で水爆実験。第五福竜丸被災、3月14日に第五福竜丸焼津港に帰港。マグロが放射能汚染されていたので大きなニュースになりました。この時の新聞記事も私は覚えています。54年9月に久保山愛吉さんが亡くなりました。
大きなニュースになり、その後、反核運動は大きく広がりました。
しかしビキニ環礁で第五福竜丸が被災した日の翌日に
1954年3月2日中曽根康弘氏が原子力予算2億3千5百万円を国会に提出しています。
1955年に原子力基本法公布

2011年福島事故後、日本に原子力導入時の「毒には毒を持って制す」話など、私たちの知らない過去の歴史がポロポロと出てきました。ポロポロ出て来たものを次に伝えなればと思います。この映画も伝えたい一つです。
(松浦雅代)

■ お知らせ

★福島原発事故の責任を問う告訴(女の会83号・2013年1月30日発行に記載) 2012年6月に福島県民1324人の第一次告訴に続いて11月には全国に呼びかけ13000人を超える告訴告発を行いました。和歌山県内では40人参加していました。
 何故なのかわかりませんが、9月9日福島地検から東京地検に移送され、その日のうちに東京地検は不起訴判決。
 他の団体から東京地検に訴えられていた管元首相も不起訴になり「当たり前だよ」とテレビに映し出されていましたが、福島原発告訴団が管さんを訴えたように取られるマスコミ報道でした。
 管さんや民主党の政治家を告訴した団体の名前がマスコミ報道されないと云う不思議さでした。
 不起訴処分に対して「私たちは挫けない！原発被害者は生きるために正義を求める！」と検察審議会への審査の申し立てを行うことになりました。

.....

★福島第一原発汚染水漏洩・流出事故についての緊急国際署名が始まっています。✂切り10月10日署名用紙同封しています。(松浦まで) ネット署名もしています。署名フォーム <http://p.tl/9YXI>

.....

★『原発を拒み続けた和歌山の記録』が地方出版文化功労賞・奨励賞を受賞しました。
 「ブックイン鳥取2012年」に出品展示された全国の地方出版物650点の中から選ばれました。これは、1987年鳥取県で開かれた「日本の出版文化展」の催しを機に「ブックインとっとり・地方出版文化功労賞」を制定、以来、当地で毎年開催されているものです。今年の6月22日の最終審査で「原発を拒み続けた和歌山の記録」が第26回奨励賞を受賞しました。
 本をまだ読まれていなくて購入希望者は松浦まで。(定価1500円＋税を1000円で)

■ 後記

みなさんお元気でしょうか？今年の夏は暑くて大変でした。セミの喧しい鳴き声が少なかったように思いました。温度差が大きくなり公園でツクツクポーシの疲れたような、か細い声を聞いて、私は同情してしまいました。
 あげ道に季節の彼岸花が真っ赤に咲いています。10/19久しぶりの勉強会是非参加して下さい。
 福島原発事故炉は4つもあることを。その現場で被ばくしながら遥かなる収束に向けて、働いている人たちの事を。15万人を超える人たちが故郷を追われ家族と地域が分断されている事を。年間20ミリシーベルト以下の地域には住民を帰還させようと云う国の方針の中で、財物賠償も進まず、避難生活を送る住民は疲弊と困難を極めてる事を。忘れないで。(松浦)

2013-10-02 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

RSS 2.0